

英語ディベート神奈川県大会 出場!

2/8(土)にカリタス女子中学高等学校で行われた「第14回日本高校生パーラメンタリーディベート連盟(HPDU)杯 神奈川県大会」に出場しました。パーラメンタリーディベートとはお題が発表され、15分から20分の準備時間ののち即興でおこなうディベートを指します。ものごとを論理的に伝える力、討論する力はもちろん必要ですが、普段から様々なニュースや世の中で起こっていることについて情報を得て、理解しておくことがこのディベートには必要不可欠なのです。

そして今回出場した8名はこの大会に向けて日々練習を重ねてきました。本番では、他校の雰囲気に圧倒されながらも、論題について与えられた役割の主張をしっかりと論理的に伝えることができました。合計4ラウンドあり、各ラウンドで与えられた論題は様々な分野のものでした。そのうちいくつかを以下で紹介します。

<論題の一部>

「This house would abolish school uniforms. (学校の制服を廃止すべきである。)」

「Confessing love online is better than confessing love face-to-face.

(告白は顔を見て直接するよりもオンラインでするほうがよい。)」

「Social media has done more harm than good to democracy.

(ソーシャルメディアは民主主義に悪影響である。)」

どの論題も個人的に意見を言うには難しくはなさそうですが、「論理的に」かつ「与えられた役割で(肯定か否定)」主張するのは決して容易ではありません。結果は表彰されませんでしたが、そのような中でも主張、そして反駁、まとめをしっかりとできていました。これからも「Atsugi Debate」を続けていってくれることでしょう。

